

安全報告書 2008

はじめに

立山黒部アルペンルートは、昭和46年6月の全線開通以来今年で37周年となります。

立山黒部は、富山県のシンボルとして、また日本を代表する山岳観光地として、多くのお客様にお越しただいてまいりました。その雄大な大自然を貫く運輸機関として、代替路線のない、高山高所の厳しい自然条件下で営業を行っており、安全の確保、安定した運行、そして環境保全には万全を期しております。

当社は、当たり前のことを当たり前にする、即座の対応を徹底し、安全の確保に取り組んでおります。そして、安全であり続けることにより、お客様から「安心・信用・信頼」を得て、顧客満足度を向上させてまいります。

この報告書は、当社の輸送における安全確保のための取組みや実態について皆様にご理解いただき、今後も安心してお越しただけるアルペンルートを目指すことを目的にしております。

ご一読いただき、皆様のご意見・ご感想をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

立山黒部貫光株式会社
代表取締役社長
中村 憲史



立山ケーブルカー



立山トンネルトロリーバス



黒部ケーブルカー



高原バス



立山ロープウェイ

平成19年度の輸送の安全に関する取り組みと実績について

1. 安全確保に関する基本的な方針

(1) 安全基本方針

- 当社は、運転安全規範を全従業員に周知・徹底し、日々の運転業務に従事しています。
- ・安全の確保は輸送の生命である。
 - ・規程の遵守は安全の基礎である。
 - ・執務の厳正は安全の要件である。

(2) 安全目標

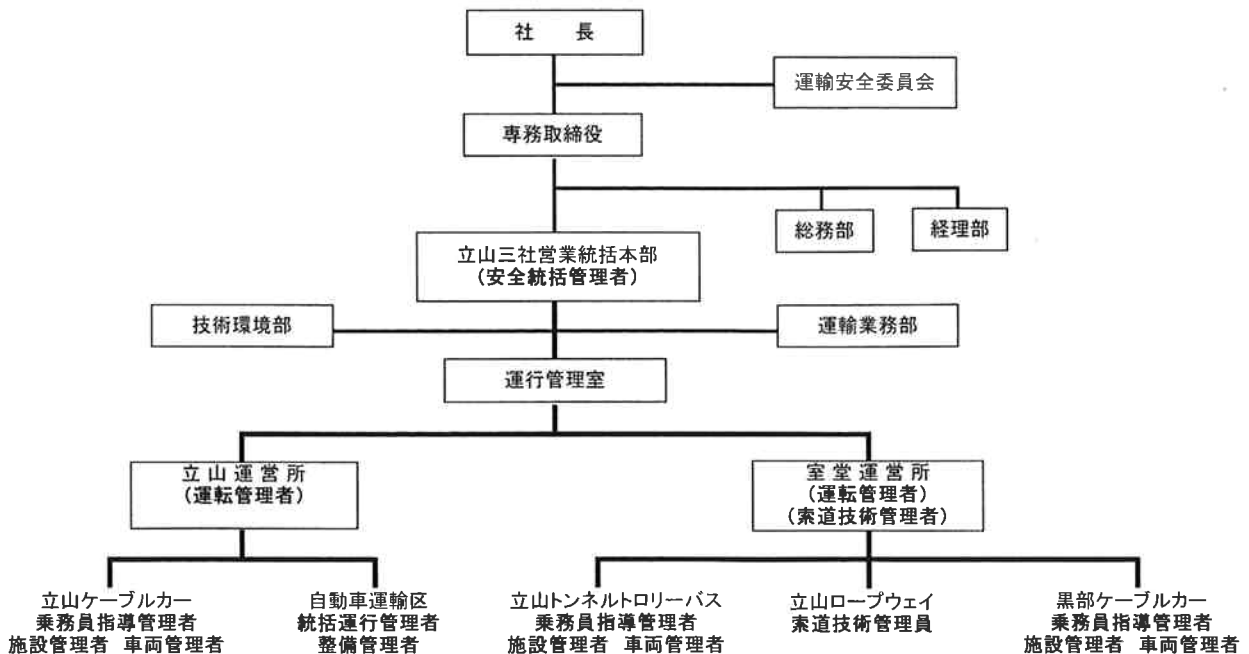
- 数値目標 「事故0件の継続」
 行動目標 「法令遵守意識浸透による安全の確保」
 「創造性を発揮し自己点検ができる体制の確立」

(3) 重点安全施策

- ・法令はもとより、安全管理規程・実施基準・作業手順書の遵守を徹底し、日々の安全を確保します。
- ・安全マネジメント（計画の策定・実行・評価・改善）体制を確立し、安全性の向上を図ります。
- ・社員に対する教育・研修を実施し、安全に対する意識の徹底、技術の向上を図ります。
- ・ヒヤリハット体験等の運輸安全に関する情報の共有化を図り、再発防止に努めます。

2. 安全管理体制

(1) 組織図



(2) 役割

安全管理規程により、社長をトップとする安全管理体制を構築しています。
その中で、安全統括管理者、運転管理者、乗務員指導管理者、施設車両管理者、索道技術管理者他が、それぞれの責務を明確にして安全確保のための役割を担っています。

役 職	役 割
社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
立山三社営業統括本部長 (安全統括管理者)	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運行管理室長	安全統括管理者の指揮の下、輸送の安全の確保に関する事項について立山・室堂両運営所を統括し、総合的に補佐する。
運営所長 (運転管理者) (索道技術管理者)	安全統括管理者の指揮の下、輸送の安全の確保に関する事項を統括する。
運輸区長 (乗務員指導管理者)	運転管理者の指揮の下、運転士・乗務員・運転系の資質の保持に関する事項を管理する。
技術長 (施設・車両管理者)	運転管理者の指揮の下、鉄道施設及び車両に関する事項を管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の指揮の下、輸送の運行を管理、施設の保守管理、その他の技術上の事項を管理する。
統括運行管理者	立山三社営業統括本部長の指揮の下、旅客自動車運送事業の運行管理に関する業務を統括する。

(3) 管理方法

- ・運輸安全委員会を設置し、運輸事業の安全管理の推進を行っています。
- ・安全マネジメント（計画の策定 P・実行 D・評価 C・改善 A）の実施により、安全性の向上を図っています。
- ・トップによる職場巡視を定期的実施しています。
- ・社内報、年頭の挨拶等を通じ、トップの考え・指針を全従業員に周知徹底しています。
- ・事故や災害等により運行障害が発生した場合、対応要綱に従い、レベルに応じた社内体制を編成(事故対策本部の設置等)し、役割分担、情報共有をはかりながら、迅速な対応に努めています。

(4) 体制の見直し

安全マネジメントの PDCA サイクルが機能しているかを内部監査等をとおして定期的に確認し、随時安全管理体制の見直し、改善を実施してまいります。

3. 輸送の安全の実態・・・平成19年度実績

<鉄道・索道事業>

当社線は、山岳地帯の特殊な環境に立地しており、黒部ケーブルカー、立山トンネルトロリーバスにおいては全路線がトンネル区間内を走行しています。また立山ケーブルカーも含め、交差する道路(登山道含む)が全く無い(踏切が皆無)ことが安全確保の上での特色といえます。

- (1) 事故等の発生状況
- ・ 事故件数 0 件 (開業当初より無事故を継続中)
 - ・ 輸送障害 1 件 (内訳) 立山ケーブルカー 1 件
- (2) 輸送障害の事由
- ・ 施設の障害によるもの 立山ケーブルカー 1 件
- 事例 真空電磁接触器不良のため運行不能となりました。
(運休期間：平成19年5月10日～5月18日)
この期間は、代行バスによる運行を行いました。
- (3) 再発防止措置
- 上記事例に対し、下記の再発防止策を実施いたしました。
- (1) 点検時に塵埃付着に注意し、付着が認められた場合は清掃を行う。
 - (2) 1年点検時に動作カウンターの確認を確実にし、寿命回数を超えないよう管理する。
- (4) 行政指導等
- 平成19年度北陸信越運輸局からの行政指導はありませんでした。
- (5) その他
- 平成19年4月21日立山駅において、立山ケーブルカー乗車待ちのお客様が、ケーブルカー乗車ホームよりホーム下に転落されました。
- 再発防止策として、ホームに手すり柵の増設、ホーム待機線の着色、緊急通報装置の設置などを実施いたしました。
- なお緊急通報装置は、黒部ケーブルカーにも設置いたしました。



立山駅ケーブルカーホーム



緊急通報装置



美女平運転室
(パトランプ設置)

＜一般乗合旅客自動車事業＞

美女平～室堂間を運行する高原バスは、標高 2,000 ㍍を越える山岳道路を走行しており、ときにその厳しい風雪の影響を受け、運行の見合わせや運休を余儀なくされる場合があります。また、急カーブや急勾配が連続する道路であり、車内転倒事故防止の観点からお客様には全員着席をしていただいております。

さらに全車両に業務用無線機を搭載し、運行管理者と運転手相互で天候の変化や路面の状況、その他走行に必要な情報を共有し安全運行に努めています。

(1) 事故等の発生状況 ・ 事故件数 0 件

(2) 天候等による運休・運行見合わせについて

	終 日 運 休	
	延べ日数	事 由
4 月	1 日	降雪・強風による除雪不能のため
11 月	6 日	降雪・強風による除雪不能のため

	始発・運行時間の変更等	
	延べ日数	事 由
11 月	5 日	降雪による除雪のため

4. 安全確保のための取り組み

(1) 点呼の実施

点呼・日々の点検が安全を確保するための原点と考えています。点呼においては各運輸機関ごとに管理者からの指示、安全に関する情報の伝達、健康状態等の確認などを行っています。また実施基準等に基づいた始業前点検（路線バスは運行前点検）を確実に実施し、安全の確保に努めています。

(2) 社員教育、人材育成

運輸勉強会・技術勉強会等を実施し、運輸関係法令、社内規程等の周知・遵守、運輸施設の保守・検査能力の向上を図っています。特に安全に対する意識、責任の重さ、的確な判断力が備わるよう指導し、安全輸送の確立と事故防止に努めています。

無軌条電車について、動力車操縦者養成を毎年実施し、運行体制を維持しています。また運転適性検査を定期的実施し、運転士・運転手の身体全体にわたる資質を管理しています。

(3) 緊急時対応訓練の実施

運行障害や火災の発生を想定した救助訓練、避難訓練を実施しています。病院への搬送に時間がかかる山岳地帯という特殊性もあり、救急救命講習の受講や AED 装置の全駅への配備により急病人への迅速な対処を図っています。



立山ロープウェイ救助訓練



AEDによる救命訓練

(4) 安全への設備投資

安全性向上のため、毎年施設の整備・修繕を計画的に実施しています。

平成19年度は、

- ・法面安全対策工事、主電動機オーバーホール工事（立山ケーブルカー）
 - ・緊急通報装置の新設（立山ケーブルカー、黒部ケーブルカー）
 - ・車体修繕工事（立山トンネルトロリーバス）
 - ・風向風速発信器の更新（立山ロープウェイ）
 - ・受電電圧変更に伴う受電設備の増設工事（美女平駅）
- などの施設整備および修繕を実施いたしました。

5. 他事業者との連携・・・(アルペンルート全体として)

立山黒部アルペンルートは、当社線黒部湖駅からは関電トンネルトロリーバスへの乗り継ぎとなります。その運行会社である関西電力株式会社とは安全、円滑な輸送を行うため、緊密な連携を図っています。

また、万一輸送障害が発生した場合、当社線の駅だけではなく、電鉄富山駅、信濃大町駅、扇沢駅でも速やかに案内できるように、関係各社と迅速な連絡体制による情報の共有化を図っています。

6. ご意見

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見をお寄せください。

ご連絡先 〒930-8558
 富山市桜町1丁目1番36号
 立山黒部貫光株式会社 運輸業務部

TEL 076-441-3000
 FAX 076-432-9056
 MAIL: unyu@alpen-route.co.jp